

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年05月26日

計画の名称	快適生活と水と緑をつなぐ下水道（第2期）（重点計画）												
計画の期間	平成28年度～平成30年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	東久留米市												
計画の目標	下水道整備を行い、健全な水循環の再構築を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	102	A	102	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H28当初	中間目標値 H29末	最終目標値 H30末
1	修景施設を取り入れた親水化下水道整備率を97%（H28）から100%（H29）に増加させる。 下水道による親水化達成率 親水化事業完了済み延長（m） / 親水化事業を実施すべき延長（m）	97%	100%	100%
2	汚水中継ポンプ場流入区域面積を170.32ha（H28）から158.42ha（H32）に削減させる。 汚水中継ポンプ場流入区域面積（ha）	170ha	170ha	158ha

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	東久留米市	直接	東久留米市	管渠(雨水)	新設	黒目川上流排水区 都市水環境整備	植栽、遊歩道 L=60m	東久留米市						7	-		
		非重点対象事業、平成30年度には実施予定なし																		
	A07-002	下水道	一般	東久留米市	直接	東久留米市	管渠(污水)	新設	第4処理分区 枝線流下系統変更整備	300mm L=245m A=11.90ha	東久留米市						95	-		
											小計						102			
											合計						102			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	「社会資本総合整備計画 快適生活と水と緑をつなぐ下水道（第2期）（重点計画）（平成28年度～平成30年度）の事後評価委員会設置要領」に基づき、東久留米市都市建設部局内において実施	事後評価の実施時期	令和2年3月30日
		公表の方法	東久留米市ホームページ

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	（事業番号1）全区間の整備が完了したことにより、遊歩道のネットワーク化及び水や川に対する親しみを深めながら散策できる、快適かつ安全な歩行空間の創出が図られた。 （事業番号2）汚水中継ポンプ場への流入区域面積が削減されたことにより、流入汚水量減少に伴う消費電力量削減に繋がり、効率的な汚水処理が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	（事業番号1）全区間の整備完了後、整備の内容や遊歩道のビューポイントなどを載せた「黒目川上流域親水マップ」の作成及び配布を行い、市民への周知が図られた。

特記事項（今後の方針等）

平成28年度から平成30年度までの3年間で社会資本総合整備計画による下水道事業を行い、概ね定量的指標を達成することができた。今後も雨水整備による浸水対策並びに下水道への未接続の解消を図り、親水化区間のさらなる水質保全等に取り組んで行く。また、汚水整備については、下水道施設（管路・ポンプ場・マンホールポンプ等）におけるストックマネジメント計画を策定し、計画的な改築等に努め、安心・安全なまちづくりに取り組んで行く。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	親水化事業完了済み延長（m） / 親水化事業を実施すべき延長（m）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	汚水中継ポンプ場流入区域面積（ha）	
	最終目標値	158ha
	最終実績値	152ha

流入区域面積の当初現況値を170.32haとして計画を策定したが、策定後に学園町幹線整備事業の結果、流入区域面積が163.9haであることが判明したため、現況値と6.42haの差が生じた。なお、当初から目標としていた流入区域削減面積11.9haは満たしている。